

美濃加茂市

飛騨牛繁殖研修センター完成 生産担う人材を育成

県、岐阜大、全国農業協同組合連合会岐阜本部（JA全農岐阜）が連携し、飛騨牛を育成する人材を育てる「飛騨牛繁殖研修センター」が、美濃加茂市牧野の岐阜



完成した飛騨牛繁殖研修センターの牛舎＝28日午前、美濃加茂市牧野、岐阜大付属美濃加茂農場

大付属美濃加茂農場内に完成し、28日、完成披露式が開かれた。

高齢化などの影響で飛騨牛生産の担い手が不足し、生産頭数が減少しているのを受けて、3者でつくる連携協議会が新規就農者の研修の場として新設。農場内約3600平方メートルの敷地に、約180頭を飼育できる牛舎2棟と堆肥舎を整備した。

2019年度は牛の繁殖事業を進め、20年度から研修生を受け入れる予定。就農者育成のほか、情報通信技術を活用して分娩の管理や監視を行うシステムの実証に向けた研究にも活用さ

れる。

式典には古田肇知事や森脇久隆岐阜大学長ら約60人が出席し、テープカットなどで完成を祝った。運営主体となるJA全農岐阜の足立能夫運営委員長は「ここで蓄積したノウハウを各地域での生産基盤拡大につなげたい」とあいさつした。会場では、地元の

加茂農林高校の生徒や農業大学校、岐阜大の学生による研究報告も行われた。

（原田大介）